



午五月廿九日集撰

三十頁

長樂



み
くねやんき

おきくはたの法



め
千尋

あ
なまのりあま

水月花雪の御



物

観

二十七

ろく

又汗のあつし

かりぬき履ぬ

曲川



二十六

ろく

と地の脊目よ

昔やせん

あ

柳枝



二十

三

三

夜

美よん

美よん



二十

三

音

音の中

音の中



二十三 五子

免溪 碧軒

目 あさひ やすく 湫

おほき 山の窟



二十二 五子

目

全

目 あさひ ちき

目 救も末ニ輪



二十一 可多サ

免溪

涼
帆の

ふるくよ



二十

可多サ

柳
枝

夕
くま

くま



くま
くま

十九 夕暮

夕暮の光

ぬくもりの

夕暮



秋田

亀樂

十六

二つ

風をよめる

夕暮の光



鶴巻

二流

十七 三々々々

深々深々深々



あやめ

泉依地
如雲

十六 二々々

蛸牛角



招きく垣

兔溪

十_二月_二日

無名^隠氏

夜^ノの月^ノ利^ノ志^ノ

きり^ノら^ノの^ノ志^ノ



十_二月_二日

柳^ノ役

夜^ノの月^ノ利^ノ志^ノ

きり^ノら^ノの^ノ志^ノ

時^ノら^ノ



十三

二五

免洪

一

免洪

免洪



十二

二五

免洪

一

免洪



白

かゝるは馬

白一子



第十

二五世

藤松
八万房

子の戸や

のけハ

来た



才九

二る女

兔溪

月のかさるるの

時より夜より

蔵の玉の玉

才八

る女

縁李山

嵐阿

かさるるの

遠くのかさるるの

蔵の玉の玉

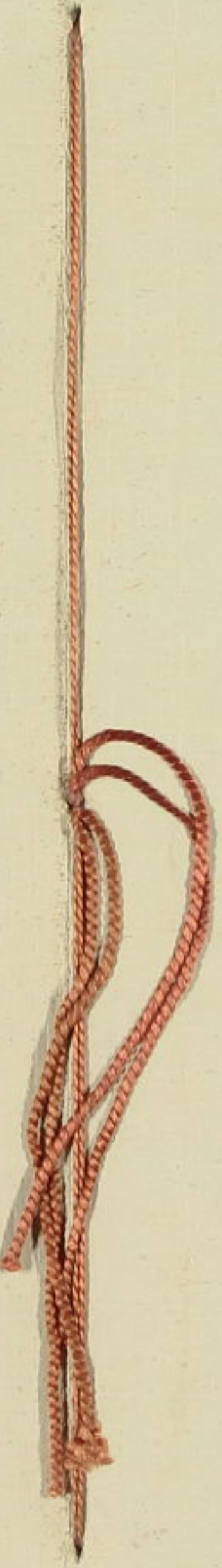
中七 inami

田川

たて

たて

たて



中六 inami

あな
南枝

今
つ
仕
務
女

あな

粽



子五 こご

拾州
桂女

子孫 こそん

くさくさ くさくさ

雪中白雀

若婦人

子四 こし

後松
哥朗

夕 ゆふ
れ れ
の の
山 やま
三 さん
年 ねん

ま ま
を を
風 かぜ
う う
ま ま
る る

雪中白雀

束三 さす

二流

三
うねとるる

あさり
松の月



束二 さす

息汀

石
山石
満ま

あ
れ
の

月
涼し



巻軸

ころり

縁杏山
八万房

あ
の
お
お

~~~~~

雲中白崖

あ  
お  
お

巻頭

り

免溪

あ  
の  
お  
お

あ  
お  
お

あ  
お  
お

雲中白崖







